

**【課題1】
関係機関の埋まらない隙間で生じる
重大事例
⇒ 地域支援ネットワーク
(要保護児童対策地域協議会)の強化**

- 隙間のない連携のネットワークを作るには
 - 個別ケース会議は適時、適切に開催されているか
参加機関は十分か
 - 情報の共有化、役割分担は適切に行われているか
 - アセスメント評価は共有化しているか
 - 情報の抱え込みによる連携の隙間が生じていないか
 - 進行管理会議は有効に機能しているか(全件確認の徹底) ①
 - 実務者会議は有効に機能しているか ②
- 児童相談所と子供家庭支援センターのなど援助主担当機関間の協働体制に隙間はないか
 - 情報の共有化は図られているか、ケースの見立ては一致しているのか
 - 両機関の連携ルールは適切に運用されているのか ③
「情報提供」「送致」「援助要請」で生じる援助の隙間
 - 児相と支援センターのマニュアルは整合性が図られているか ③
 - 児相の区市町村支援は十分行われているか
- 医療、教育部門との連携が十分ではない
 - 相談援助部門との連携は図られているか
 - 保護者との摩擦を考慮して通告に躊躇する傾向はないか
(通告のマニュアルができないか) ④
 - 組織内での情報の共有化が十分図られているか
 - 精神疾患を持つ親の主治医との連携は図られているか ⑤
- 在宅のハイリスク家庭、再統合家庭への支援が十分ではない
 - 児童相談所の保護者指導は十分機能しているのか
 - 援助機関の役割分担が不明確
 - 地域の資源、民間団体等外部機関との連携は図られているか(地域資源、民間団体の脆弱な現状)
 - 見守りや親との関係、家庭支援に関する具体的技術が不足しているのでは?⑥

第2回：9月頃 第3回：11月頃
※随時ヒアリング

**【課題2】
虐待の未然防止策が進展していない
⇒ 地域における未然防止策、
要支援家庭の早期発見・支援策の推進**

- 子育て不安群(虐待予備群)への支援が十分ではない
 - 虐待防止の観点から、地域の子育て支援部門のサービスを充実できないか
(子育て不安の解消が図れるようなサービスの提供)
 - 子育て支援サービス機関と相談援助機関、保健機関との連携は十分図られているか
 - 要保護児童対策地域協議会における子育て支援部門(民間NPO等)の参加は図られているか
 - 地域の関係機関における虐待防止の取組は浸透しているか(民生児童委員、社会福祉協議会) ⑦
 - 虐待防止に関する地域への普及啓発が不十分では ⑧
 - 虐待の世代間連鎖を防止する地域支援⑨
 - 障害を持つ子の親の支援は十分に行われているか ⑩
 - 難病を持つ子の親支援は十分に行われているか ⑪
- 要支援家庭をより確実に早期発見するには
 - 健診など母子保健事業を通じた要支援家庭の早期発見について、十分工夫ができていないか
(福祉部門に健診データなどが情報提供されるか) ⑫
(健診や予防接種を受けていない児童の把握の徹底) ⑬
 - 各種健診や乳児家庭訪問を通じて把握した家庭は、要保護児童対策地域協議会につながっているか
 - 妊婦健診未受診者、特定妊婦へのアプローチは図られているか
 - ひとり親福祉部門、女性福祉(DV)部門と相談援助部門連携は十分図られているか ⑭
 - 社会福祉事務所(被保護者世帯対応)との連携は図られているか ⑮
- 子どもの成長に合わせたライフステージを通じての関係機関の連携が十分図られていない
 - 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校の情報の共有化は十分図られているか

第4回：1月頃 第5回：3月頃
※随時ヒアリング

**【課題3】
増え続ける虐待相談件数、重篤化する
ケース内容への迅速的確な対応
⇒ 相談援助部門の機能強化**

- 対応困難ケースが増える中、相談援助機能をさらに強化するには【児童相談所】
 - 医療機関からの通告ケースや要医療ケースが増える中で迅速、的確な対応が必要
(⇒困難ケースに関するガイドラインは作れないか) ⑯
 - 一時保護ケースの増等に伴ない、困難な保護者対応に追われる現状
 - 児童相談所の調査権限の強化について(例えば条例化) ⑰
※一人ひとりへの子供について社会的責任を明確に ⑱
- 介入型支援を支える人材確保・育成が困難【児相など】 ⑲
 - 経験年数の少ない児童福祉司(2年未満が34%)への人材育成(介入型支援のスキルアップ)をどう図るか
 - 基幹職員(チーフ)のプレイングマネージャーとしてのスキルアップが急務
 - 燃え尽き症候群を防止するにはどのような方策があるか
モチベーションアップの方策
(⇒職員へのアンケート調査の実施を) ⑳
- 区市町村の体制や対応力に温度差がある
【子供家庭支援センターなど】 ⑲
 - ケースの見立てについて児童相談所と乖離はないか
 - センター長や基幹職員の育成が課題
 - 地域子育てサービスの内容が様々
 - 支援センター内直営部門と民間委託部門の役割分担が適切に機能しているか
- 援助機能強化のための連携 ㉑
 - 警察との連携強化をどう図るか
(⇒連携の成功事例はあるか)
 - 事件化の対応も必要となる重篤な虐待事例(身体的虐待、性的虐待など)
 - 児童相談所機能の守備範囲の肥大化(性行相談、愛の手帳相談から虐待対応まで)
民間団体との機能分担を図れないか

第6回：5月頃 第7回：6月頃
※随時ヒアリング